

令和 7 年

高松市教育委員会 10月定例会

会議録（抄本）

10月24日（金）開会

10月24日（金）閉会

出席した教育長及び委員			
教育長	小柳和代		
委員	塩見勝彦		
	葛西優子		
	小方朋子		
	和泉憲		
欠席した教育長及び委員			
委員	富家佐也加		
説明のため会議に出席した者等			
教育局長	一原玄子		
教育局参事	前田康行		
教育局次長 総務課長事務取扱	黒川桂吾		
教育局次長 生涯学習課長事務取扱	佐々木啓明		
学校教育課長	岡内秀寿		
こども保育教育課主幹	久保優子		
総務課長補佐	西山周吾		
総務係長	唐渡みどり		
会議録署名委員	和泉憲		
事務局担当書記	香川有美子		

【特記事項】 傍聴人なし

## 議 事 日 程 (10月定例会)

### 日程第1 報告事項

- 1 第3回園長・校長・副校長研修会における実践事例研修について
- 2 「令和7年度全国学力・学習状況調査に係る結果の考察と今後の指針」について
- 3 令和8年度高松市立幼稚園の利用申し込みについて

【令和7年10月24日（金）議事内容】

---

午前9時30分 開会

教育長が、会議録の署名委員に和泉委員を指名。

日程第1 報告事項

報告事項1 「第3回園長・校長・副校長研修会における実践事例研修について」

学校教育課長から、第3回園長・校長・副校長研修会における実践事例研修について説明。

<質疑>

(発言する者なし)

---

報告事項2 「『令和7年度全国学力・学習状況調査に係る結果の考察と今後の指針』について」

学校教育課長から、「令和7年度全国学力・学習状況調査に係る結果の考察と今後の指針」について説明。

<質疑>

- 委 員 I C T機器の使用が低いことを気にされていますが、今の時代ですから、社会の方から、そういったものを使う環境に慣れていくと思いますので、あまり気にしなくてもいいのではないかと思います。
- 学校教育課長 校長先生に聞くと、学校では、かなり使っているそうです。しかし、子どもたちが使ったという実感が薄いように思います。子どもたちが自主的に I C Tを活用する場面を多く設けることで、数値が上がってくるのではないかと思います。また、今年度は家庭への持ち帰りも多くしていますので、使う頻度は高くなってきていると思います。
- 委 員 子どもたちはすでに社会とつながっているので、どんどん使い方は上手になっていくと思いますが、一方で、教員の研修は引き続き行っていただきたいと思います。学校で使っておけばいいというよりも、多様な使い方や学び方ができるという選択肢を子どもたちに示すためにも、I C Tでこんな使い方ができると教員が示せるような技量をつけていただきたいので、教員の研修は当分続けていただきたいと思います。
- 学校教育課長 G I G A端末が更新の時期を迎えており、ソフトもいろいろと変わることがあるので、学校では研修を前倒しで行っており、センターでも講座を行ってG I G A端末を上手く活用できるようにしているところです。また、講座も行っていますので、これを続けていきたいと思います。
- 委 員 学校の図書費ですが、1, 200人の学校と100人以下の学校では、人數によって図書費が異なるのでしょうか。1, 200人の学校では、同じ本でも4、5冊なければ、子どもたちに本が行き渡らないと思います。生徒数に関わらず、子どもたちの図書の選択肢の幅を狭めることのないよう図書費の検討をお願いしたいと思います。

- 学校教育課長 全児童生徒数に関係しています。今年度は、財政状況が厳しく、図書費も少なくなっています。学校訪問をし、図書担当者から、もう少し図書費の方が欲しいと聞きました。子どもたちも、新しい本や新刊の図書は人気があり、そこからどんどん図書を広げていくこともできます。児童数が多い学校は、たくさんの本が必要になりますので、そのバランスを今後も検討していきたいと思います。
- 委 員 生成AIについて、教育委員会でも使用を検討はされてると思いますが、利用についての功罪というか、良いところと悪いところがありますので、検討を引き続きお願いしたいと思います。
- 教育長 子どものAIの活用については、文部科学省からガイドラインが示されています。しかし、教員は、大いに活用していかないといけない状況に迫られていると思います。来年度、端末が更新されて、新しいタブレットになるのにあわせて、AIドリルなどの導入も検討しています。AIドリルは、単に問題を解くだけでなく、間違った場合に、何がわからないからそれが正解できないのかというところに、AIが判断して、その子に応じた教材や問題を出してくれるものもあり、教員は、個々の子どもの状況を把握できるようになります。こうした新しい技術について、教員はこれらの新しい技術を学ばないといけないと感じています。
- 委 員 学童保育でも、子どもたちがタブレット持ち帰ってくるので、Wi-Fi環境を整えて、宿題ができるようにしています。しかし、家庭環境によって、家でも使いこなしてやる子どもと、そうでない子どもの差があるように思います。低学年の子どもたちでも少し差があるように思いますので、先生方には、家庭環境に関係なく、皆がついていけるような指導をしていただきたいと思います。また、子どもたちが先生に宿題を直接送っていますが、全員からきちんと提出されているのか、その履修率が気になっており、そのあたりで取りこぼしは出でないのでしょうか。
- 学校教育課長 タブレットの持ち帰りをしていますが、低学年の子どもたちでは、タブレットを持ち帰って上手く使っている子どもと、使いこなせていない子どもがいます。

それについては、学校は学年に応じて、これまでのプリントの確認を使用しているところもあり、徐々にしていかないと全部はできないところはあると思います。高学年になると、宿題をデータで提出することが出来ていると思いますので、学校ごとの状況を見ていきたいと思います。

- 教育長　　家庭環境によって、Wi-Fi環境が整っている家庭もあれば、十分整っていない家庭もありますが、環境がない家庭には、教育委員会の方でWi-Fiルーターの貸し出しを行っており、予算も毎年計上しています。今回、熱中症特別警戒アラートが出た時には、オンラインで学習することになり、家からオンライン学習ができる環境にあるのかという確認を各学校が行いましたので、やっと整ってきたと思っています。
  - 委員　　数年で一気にAIが浸透して、オンラインについても若い家庭では十分使いこなされていると思います。共働きの家庭が多いので、Wi-Fi環境が整うことで、在宅の子どもの様子が分かるため、いい活用ができていると思います。
  - 委員　　教室の端末を充電するスペースを設けて、箱があるのですが、線をぐるぐると巻いて保管しており、線が長いので非常に火災の危険があると思います。次に新しく買われるのでしたら、短くてもいいと思います。線自体が熱を持ってるので、火災の原因になると大変ですので、気をつけて頂きたいと思います。
  - 学校教育課長　　確認いたします。
-

### 報告事項3 「令和8年度高松市立幼稚園の利用申し込みについて」

こども保育教育課主幹から、令和8年度高松市立幼稚園の利用申し込みについて説明。

＜質疑＞

- 委 員 現在、市内の幼児で公立の幼稚園、保育施設を利用される方は4割以下で、他の方は私立に行かれており、小規模な幼稚園も増えてますので、特別な支援を要する幼児を受け入れができる詳しい先生たちが在籍する園にしていただきたいと思います。
- こども保育教育課主幹 10年ほど前から、毎年、特別支援教育の研修の種類が増え、内容も細分化されています。発達障害やADHDなど、それぞれの特性の研修が選択できるようになっています。また、高松市が実施している発達障害児構築事業もありまして、各園に指導していただく方から、直接指導を受けられる機会もありますので、随分充実してきていると思います。特別な支援が必要な子どもの受け入れを拒否することはありません。幼稚園も1クラスの人数が減ってきており、10人以下のクラスでは、支援の必要な子どもが7割というクラスもあります。
- 委 員 特別な支援を要する子どもの受付期間が1週間しかありませんが、その前に周知をされているのでしょうか。他の方は3週間ぐらいあるのに、1週間では受付が間に合わないのではないかでしょうか。
- こども保育教育課主幹 受付に関する周知は行っています。支援会は11月に行いますが、間に合わなかったとしても、持ち回りで支援会を行いますので、受付期間終了後でも対応可能です。